

# 平成30年7月豪雨及び北海道胆振東部地震による 被害状況

# 平成30年7月豪雨による内水被害

8月末現在

○内水氾濫による浸水被害が、西日本を中心に**19道府県88市町村**で発生。  
○浸水戸数は全国で約2.9万戸。そのうち内水被害が約1.9万戸。

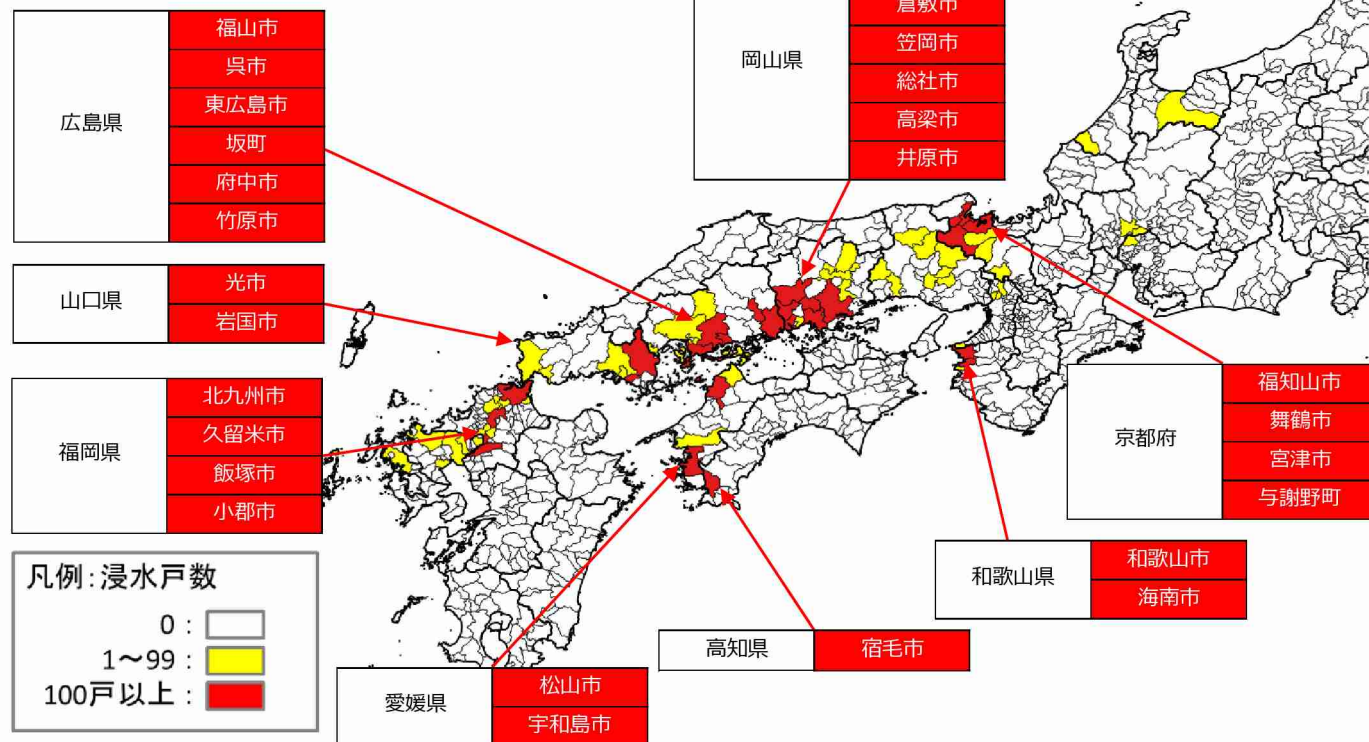
○主な内水被害団体\* (被害戸数 1,000戸以上)

都道府県	市	被害状況		
		床上(戸)	床下(戸)	合計
岡山県	岡山市	1,687	3,728	5,415
福岡県	久留米市	423	1,011	1,434
広島県	福山市	751	638	1,389
合計(88地方公共団体)		6,104	12,749	18,853

○内水被害発生団体\* ( )内は市町村数

北海道(3)、富山県(1)、石川県(1)、岐阜県(2)、  
愛知県(1)、京都府(8)、大阪府(4)、兵庫県(8)、  
和歌山県(3)、岡山県(11)、広島県(10)、山口県(6)、  
香川県(1)、愛媛県(5)、高知県(1)、  
福岡県(14)、佐賀県(6)、長崎県(1)、沖縄県(2)

※被害戸数は地方公共団体からの報告による。  
なお、外水被害を含む場合があることから、今後変動することがある。



# 平成30年7月豪雨による下水道施設の被害状況

8月末現在

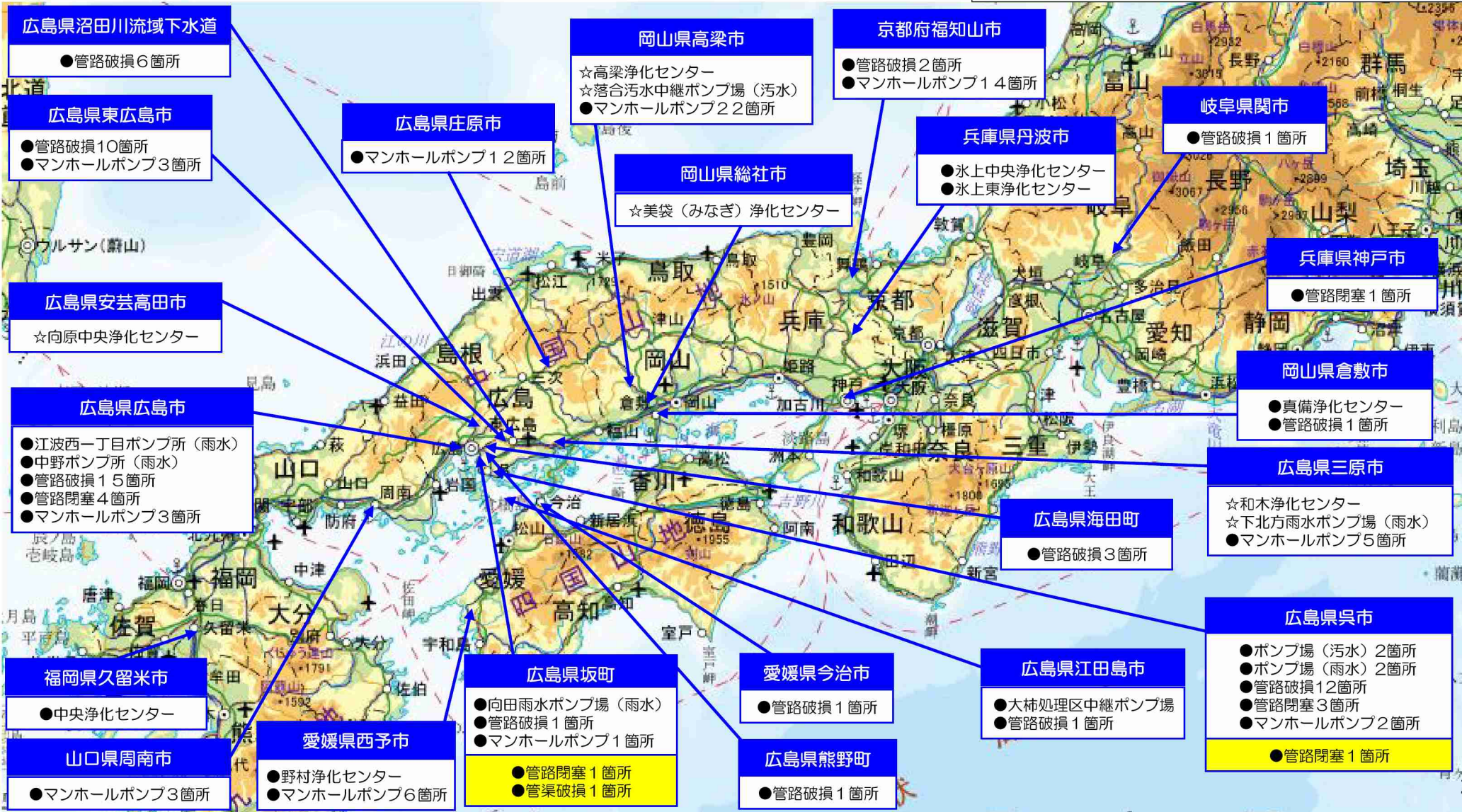
- 処理場、ポンプ場19箇所が浸水により機能停止 (19箇所で応急復旧済み)
- 道路陥没、土砂流入による管路破損等65箇所 (62箇所で応急復旧済み)
- 浸水によるマンホールポンプの機能停止71箇所 (71箇所で応急復旧済み)

凡例

応急復旧済

現在対応中

☆施設：日本下水道事業団が復旧支援。



# 平成30年7月豪雨による下水道施設の被害状況



浸水状況

＜真備浄化センター＞  
（岡山県倉敷市）



施設内の被害状況



＜汚水幹線の管渠破損＞  
（広島県呉市）



＜流域幹線管渠の破損＞  
（広島県東広島市）



＜水管橋の破損＞  
（岐阜県関市）

# 浸水被害の状況と浸水対策の効果事例について

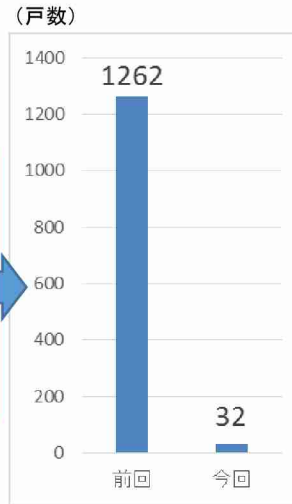
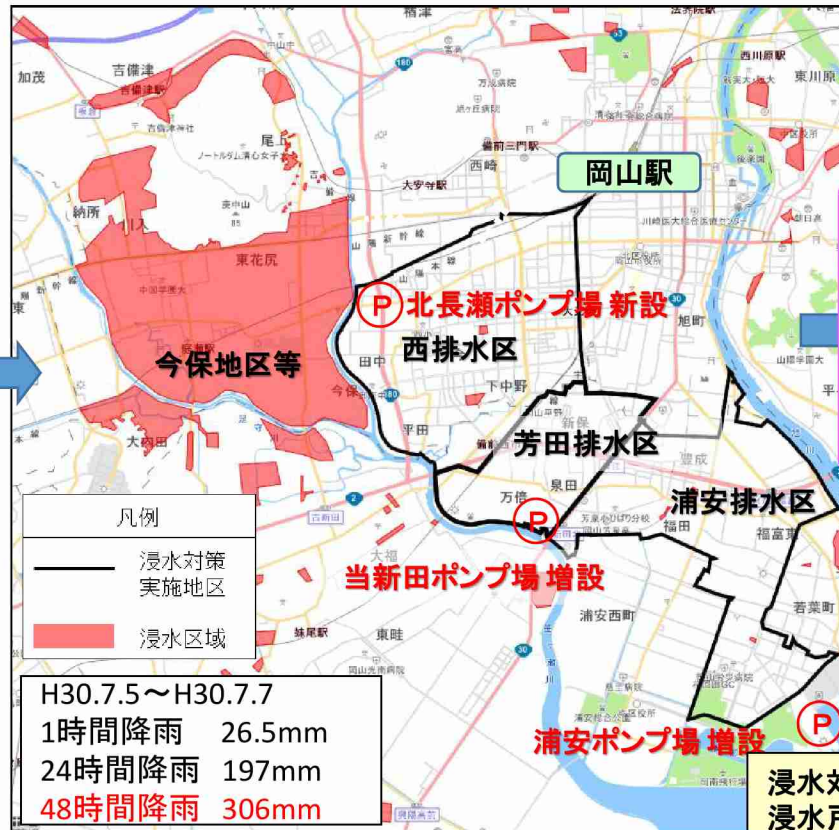
○岡山市では平成30年7月豪雨で内水により市内全域で約5千戸の浸水被害が発生。（8月末時点）

○平成23年に大規模な浸水被害が発生した「西排水区、芳田排水区、浦安排水区」はポンプ場整備などの対策により、浸水被害が大幅に軽減された一方、計画があるにもかかわらず対策が未実施である「今保地区等」は甚大な浸水被害が発生。

H23年台風12号での浸水区域

H30年7月豪雨での浸水区域

「西排水区、芳田排水区、浦安排水区」の浸水戸数



浸水対策を実施したことにより、浸水戸数が大幅に軽減！

# 北海道胆振東部地震による下水道施設の被害状況

9月14日 12:00時点

- むかわ下水処理場については、流入渠及び場内配管が被災したが、日本下水道事業団のアドバイスのもと、応急復旧済み。
- 安平浄化センターについては、2系列のうち1系列の浮上防止装置が破断し、タンクが浮上。現在、残る1系列にて対応中(汚水処理に影響なし)。
- 管路については、異状が77箇所、マンホール浮上90箇所、その他液状化等に伴う被害を確認するため、詳細調査を実施中。現在のところ、下水道の使用制限に繋がるような被害はなし。

凡例

応急復旧済

現在対応中

